

第4回 蒲郡北地区統合小学校開校準備委員会 議事要旨

- 日 時 令和7年7月31日（木）10時から12時05分まで
- 場 所 蒲郡市立蒲郡西部小学校2階会議室
- 参加者 開校準備委員会委員
彦坂繁、藤井克枝、奥村那奈、竹尾公孝、足立泰敏、永井久嗣、
河井則夫、尾崎友美、山本なおみ、原田あい、神田顕寿、
岡田隆志、近藤愛子
事務局
三浦次七郎、戒田正敏、高須伸光、稲吉育美、坂本和浩
井本亮裕、下大園光輝

1 あいさつ（委員長 彦坂 繁）

統合に向けて少しずつ前進していることを感じている。本日は報告、議題に加えて、いよいよ校名を決める第一歩の委員会でもある。皆様の力をお貸しいただきたい。

2 協議

(1) 第3回準備委員会の議事要旨確認について（事務局）

第3回の議事要旨について説明。ホームページに準備委員会の内容と議事要旨を公開していく。公開前に承認をいただきたい。

【委員からの意見・質問】

【委員】 「子ども」と「子供」と表記が混在しているため統一いただきたい。

【事務局】 「子ども」に統一する。

【決議】

全会一致により承認

(2) 部会報告

ア 事務局からの報告

『新しい学校通信』第3号を広報9月号と併せて回覧予定。

北部・西部小学校の合同職員会を今までに2回実施し、交流の計画や、部会内の協議が進められている。

来年度予算要求については、校章・校歌作成、学校旗作成費用等を予定している。また、新しい校名案が決まり次第、条例・規則等の改訂に取り組む。

イ コミュニティ部会からの報告

コミュニティ部会の校名選定、校章・校歌については後ほど提案させていただく。

ウ カリキュラム部会からの報告

学校行事については両校の相違を確認し、令和 8 年度の内容を検討している。教育課程については、交流授業を通し、生活科や総合的な学習の時間の内容を検討していく予定。

1 学期は各学年で交流を行ってきた。子どもたちは交流を進める中で、お互いを知り、仲を深めている。

エ 生活部会からの報告

体操服について、現在両校の教職員でサンプル等を参考に検討を進めている。PTA 役員にも意見をいただきながら、今年度中には決定していきたい。

その他のものについては、両校で使用しているものを整理し、同じものは原則そのまま継続して使用していきたいと考えている。

施設の備品については、夏休みを使って、両校の職員で移設品や廃棄する備品などを整理する。

【委員からの意見・質問】

【委員】 【生活部会】に関して、学校の規則等はできるだけ最小限にしてほしい。学校では「自ら」考えることを大切にしている。家庭や本人の判断にゆだねていきたい。

【委員】 交流を通して、子どもたちの声や様子がわかれば知りたい。

【委員】 （北部小では）西部小の良い所がわかったなどの声があがっている。いっしょに学びたいという気持ちが高まっている。

【委員】 （西部小では）3 年生は国語や道徳の合同授業を実施した。子どもたちはとても満足した様子であった。

【委員】 子どもたちへの配慮は必要だが、交流にそんなに時間をかけなくても子どもたちは仲良くなるのでは。

【委員】 西部小の子は、統合の不安は当然ある。様々な子がいるが、どの子も手厚く取りこぼさないことが大切だ。

【委員】 中央小と西部小との交流は、どうか

【委員】 物理的な距離の問題で、現状進んでいない状況がある。（西部学区で）中央小への進学希望する子どもがいれば配慮は必要。

【委員】 （現西部小の児童で中央小学区となった児童）子どもと親と北部と中央どちらにするか意見が分かれることも心配している。

【委員】 （二つの地区の子どもたちの交流について）前もっての心の準備は必要だ。小規模学校から環境が変わる側は不安な部分はある。

【委員】 児童館では、交流をして楽しかった、友達ができたという声を聞くことが増えた。小さな積み重ねが大事だと感じた。

【委員】 家庭で子どもたちの本音を聞き出せるとよい。保護者間の情報に左右されるのではなく、実際に子どもたちが交流を通して感じるものが大切にされるとよい。

【委員】 校歌については、音楽の授業等で子どもたちが AI でつくることも考えられる。

(3) 校名候補の選定について

応募数は114。その中から同じ校名（よみ）のものは、一つにまとめた。選定は、次の順で進めていく。

- ① 委員に、応募の中から2点ずつ選んでいただく
- ② 候補にあがったものについて委員で協議する
- ③ 協議後、候補にあがったものの中でよいと思うものを選ぶ
- ④ 最終的に5点程度にしばる（表記についても決める）

候補に挙がった校名については、9月に北西部小児童・教職員・地域の方の投票を行い、その結果を参考に一つの候補にしばっていく。

尚、校名の前には「蒲郡市立」後ろには「小学校」が入るものとする。

【校名選定での主な意見】

【委員】 音読みの校名は最近少なくなっている気がする。

【委員】 できれば今ある校名は避けたほうが良いのではないかな。

【事務局】 応募した方の思いを大切に選定していただきたい。

【委員】 北部・西部と地域が偏るのは避けたほうがよい

【委員】 北部・西部にこだわるのは大人である。子どもたちの願いや思いを大切にすべきである。

検討の結果、次の7点の校名候補が選ばれた。

「たちばな」、「しずさと」、「実りの丘」、「楠の森」、「みかんの丘」、「みかんの里」、「ゆうひの里」

【決議】

全会一致により承認。

(4) 校章・校歌の決め方について

コミュニティ部会では校章・校歌の決め方を、以下のように考えている。校章については、校章のイメージを子どもたちが話し合いを通して決定し、そのイメージが表現できるようなデザインを募集し、子どもたちの投票で決めていきたい。校歌については、令和9年度の統合後、子どもたちと一緒に校歌をつくってくれるような業者や人に依頼をしたいと考えている。その場合、開校時に新しい校歌がない状況となる。

【委員からの意見・質問】

【委員】 校章デザインの募集は地域で実施するのか。地域ではなかなか集まりづらいかもしれない。募集対象地を広げるのも手では。

【委員】 中部中学校区の美術の授業で子どもたちに考えてもらうのはどうか。若い感性とセンスはぜひ反映させたい。

【委員】 今の5・6年生も統合に向けて何らかのかたちで携わることができればと思う。

(5) 通学路について（事務局）

7月15日、16日に、西部小学校の保護者及び西部地区にお住いの未就学児の保護者向けに説明会を開催した。保護者の方が提出してくださったご意見を踏まえて通学路を改めて提案している。併せて、安全対策として、中央公園西にある押しボタン信号の移設や、道路に注意喚起のために「学童注意」などの路面表示を実施することに関しても、交通安全プログラム推進室と調整を行った。夏休みを使って親子で実際に歩いていただくなど現地を確認いただいたうえで、ご意見がある場合は改めてご提出いただくようお願いをしている。追加で必要な安全対策の実施や、通学路のさらなる修正について検討をしたうえで、通学路を決定して保護者の皆さまに説明を行う予定である。

【委員からの意見・質問】

【委員】 今後、通学路に関しての改善等は希望を伝えるのが良いか。また、どこの課へ申請するのがよいか。

【事務局】 いったんは学校に要望等を出していただきたい。その後、学校が要望等まとめたうえ交通安全プログラム推進室へご意見や希望等を提出し、対応している。

【委員】 押しボタン式信号は、増設か。

【事務局】 押しボタン式信号は、令和9年4月に間に合わせるために、増設ではなく移設。

3 その他（連絡事項）

次回の開催について

9月30日（火）午後2時から北部小学校多目的室での開催を予定。